

## 高校生が沖縄の未来について考えてみた

### 【戦後80周年平和祈念事業】跡地利用県民フォーラム

11月15日(土)「戦後80周年平和祈念事業 跡地利用県民フォーラム」がイオンモール沖縄ライカムで開催されました。この催しは軍用地の跡地利用を考え沖縄県の未来について語るというものです。その公開イベントとして、沖縄の将来を担う高校生が思い描く未来のまちを、まちづくりコーディネーターがその場で絵として表現し、未来のまちについて考えるパネルディスカッションが開催されました。基地を有する県内中南部の3高校、浦添高校・普天間高校そして北谷高校の生徒代表が沖縄県の未来について夢を語りました。北谷高校からは、3年生の前里勇希さん(北谷中)・ロビンソン琴美ケイラさん(桑江中)、2年生の奥濱梨音菜さん(古蔵中)・宮城明紗さん(山内中)・當間陽向さん(真志喜中)の5名が参加しました。たくさんの観客の前で、高校生なりに考えた素敵な町づくりについて堂々と意見を発表してくれました。頼もしい！北谷高校生の勢いが止まりません！

